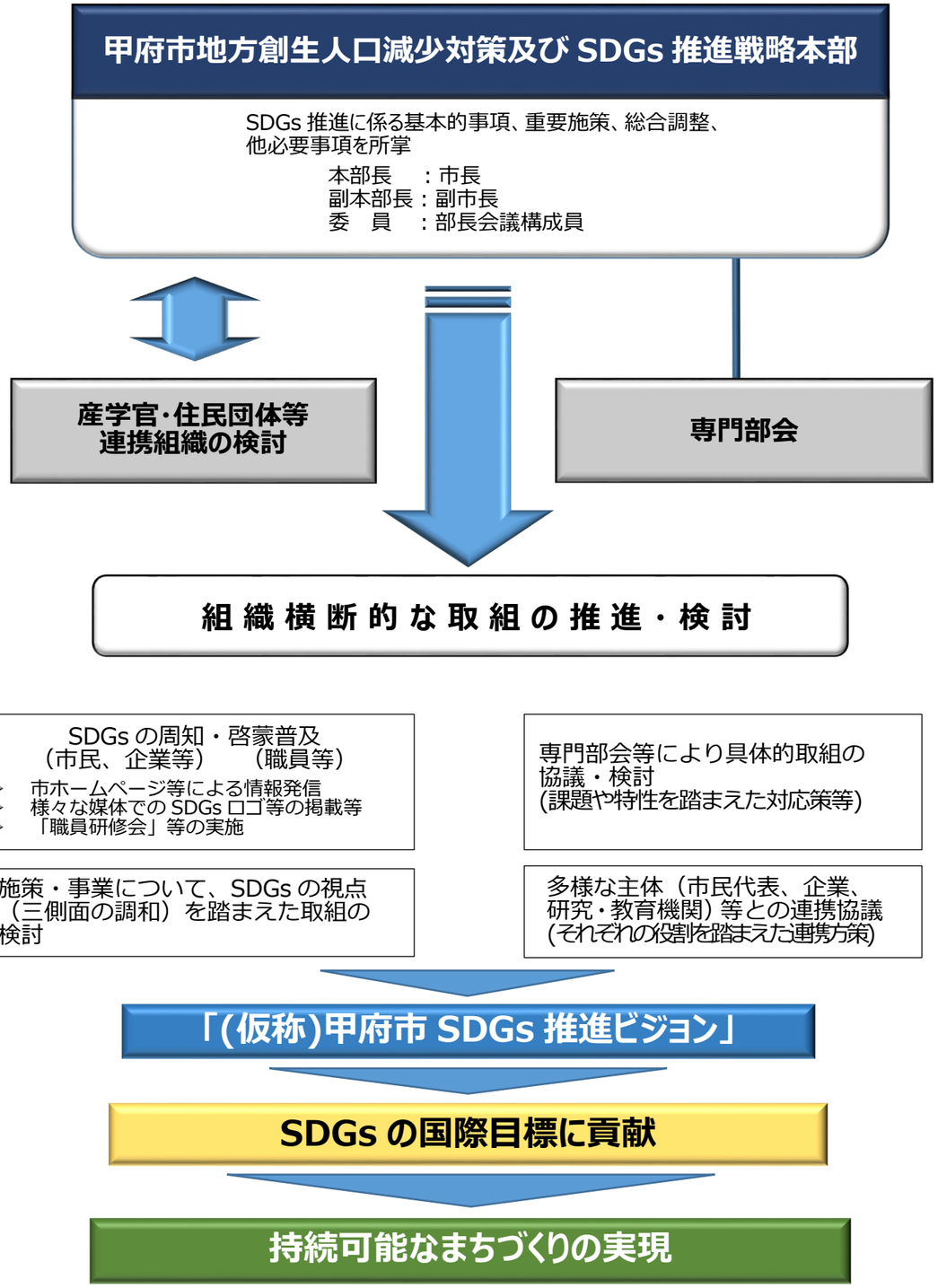
【甲府市の推進体制及び方向性】



甲府市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

甲府市 SDGs 推進の考え方

現在、本市では急速に進行する人口減少や少子高齢化、地域経済の縮小など様々な課題に加え、今般の新型コロナウイルス感染症拡大により大きく進んだテレワークの普及による地方移住への関心の高まりや生活様式の多様化など、人々の意識や価値観に大きな変化が生じています。

このような中で、国際社会においては、かけがえのない地球環境を守り、多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、国連で採択された「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」を共通の指針として掲げ、その実現に向けた取組が広がっています。

昨今、SDGs の推進にあたっては、その理念や意義について住民の皆様の理解が広がり、公共セクターと民間セクターの垣根を越え、自治体や企業、各種団体、研究・教育機関など広範で多様な主体が連携しながら、幅広い地域で様々な取組が展開されています。

【基本的な考え方】

本市においては、SDGs の考え方を様々な政策や施策・事業と連動させ展開しつつ、本市の直面する課題や地域の特性、強みをとらえた 2030 年の本市の目指す方向性などを示す中で、SDGs の理念を市民の皆様と共有するとともに、SDGs の普及啓発や SDGs の目標達成に向けた多様な主体が連携・協働した取組を進め、甲府市全体で SDGs を積極的に推進していきます。

【ビジョンの策定】

SDGs の経済・社会・環境の三側面での適切な調和のもと、持続可能な発展と「誰一人取り残さない」との理念を市民の皆様と共有するとともに、多様な主体との連携を深める取組について、中長期的な視点に立った、具体的な目標や施策・事業を盛り込んだ「（仮称）甲府市 SDGs 推進ビジョン」を年度内を目途に策定し、計画的な取組につなげ、本市を取り巻く諸課題の解決に一層邁進してまいります。

甲府市の SDGs 推進に向けた取組について

【ＳＤＧｓとは？】

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。
SDGs は世界が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

【SDGs ロゴ（17 のゴール）】　　出展：国際連合広報センター

1　貧困をなくそう
2　飢餓をゼロに
3　すべての人に健康と福祉を
4　質の高い教育をみんなに
5　ジェンダー平等を実現しよう
6　安全な水とトイレを世界中に
7　エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8　働きがいも経済成長も
9　産業と技術革新の基盤をつくろう
10　人や国の不平等をなくそう
11　住み続けられるまちづくりを
12　つくる責任　つかう責任
13　気候変動に具体的な対策を
14　海の豊かさを守ろう
15　陸の豊かさも守ろう
16　平和と公正をすべての人に
17　パートナーシップで目標を達成しよう

【SDGs をどのように推進するのか？】

多様な主体との連携	SDGs では、行政だけでは効果的な取組が期待できない分野においても、様々な主体との連携により実現が可能となります。 このため、それぞれの主体の強みを活かした適切な役割を分担するなど、緊密なパートナーシップを築く取組を進めます。
三側面の相乗効果	SDGs では、経済、社会、環境の三側面において、バランスが取れ統合された形での推進が重要です。 このため、関係者が連携や調整を行いながら、一つの取組で様々な分野に対して複数の効果が得られるような取組を進めます。

甲府市が有する課題・地域資源等

（仮称）甲府市 SDGs 推進ビジョンの策定

（仮称）甲府市 SDGs 推進ビジョン【イメージ】

1. 基本的な考え方
2. 地域の特性と課題
3. 新たな課題への対応
4. 2030 年への道程
5. SDGs の理念と 2030 年への方向性
6. ビジョン施策の柱
7. 推進体制

※2021 年度内にビジョンを策定予定

二〇三〇年に目指すべき甲府市の姿